

第3回理事会議事録

一般社団法人日本ねじ工業協会

1. 開催日時：平成25年12月 5日（木） 14：00～15：00

2. 開催場所：ホテル日航大阪 4階「孔雀の間」

3. 現在の理事数 9名

4. 出席した理事数及び氏名 9名 （順不同・敬称略）

（1）本人出席（9名）

会 長	竹 中 弘 忠	株式会社竹中製作所
副 会 長	椿 省一郎	株式会社互省製作所
”	相 澤 正 己	メイラ株式会社
”	後 藤 晴 雄	株式会社朝日押捻子製作所
”	嶋 田 亘	株式会社フセラシ
”	大 川 克 良	大川精螺工業株式会社
理 事	小 林 伊知郎	株式会社佐賀鉄工所
”	長谷川 裕恭	株式会社メイドー
専務理事	大 磯 義 和	一般社団法人日本ねじ工業協会

（2）監事出席（2名）

監 事	後 関 満 之	株式会社後関製作所
”	田 中 良 典	田中熱工株式会社

（3）来 賓

経済産業省 製造産業局 産業機械課

係 長 國 峯 彰 太 氏

近畿経済産業局 産業部 製造産業課

課 長 内 海 美 保 氏

総括係長 廣 戸 貴 義 氏

5. 議 題

○ 審 議 事 項

- | | | |
|----|---|---------------------------|
| 議題 | 1 | 六角ボルト・ナット JIS 改正チラシ製作について |
| 議題 | 2 | 国立科学博物館への遺産登録について |
| 議題 | 3 | 平成26年度行事予定（案）について |
| 議題 | 4 | その他 |

○ 報 告 事 項

- (1) 会合開催状況
- (2) 今後の予定
- (3) 褒章受賞会員について

6. 議 事

大磯専務理事より本日の理事の出席状況について、理事本人 9 名全員出席のため本理事会が有効に成立している旨の報告があった。

竹中会長の開会挨拶の後、経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 國峯 彰太氏より挨拶があった。

竹中会長が議長となり、議事録署名人として議長のほか椿副会長、相澤副会長の 2 名を選任して議事に入った。

議 題 1 六角ボルト・ナット JIS 改正チラシ製作について

専務理事より、別添資料 1 に基づき次の説明があった。

JIS B1180（六角ボルト）及び JIS（六角ナット）の改正案は、日本ねじ研究協会を通じて経済産業省へ提出され、同省の審議の上平成 26 年度中に改正される予定となっている。この改正案では付属書が継続して存続するため、JIS に則って生産された製品と付属書の規定により生産された製品の 2 種類が市場に出回る。この状況を広く一般に周知するため、商業者団体と協力してチラシを作成し、広報を行いたい。

議長が本案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

議 題 2 国立科学博物館への遺産登録について

独立行政法人国立科学博物館では、我が国における産業技術資料の収集等を行っており、この度「ねじ産業」において 20 世紀の産業遺産として次世代に継承すべき資料や製品等の存在についての調査要望がきている。目的は、これら遺産の存在を広く国民に対し明らかにし、日本の産業技術のすばらしさ、産業技術資料の重要性を次世代に継承すべくアピールするものである。手順としては資料 2 ページの①に記載のとおり、まずは産業技術史資料の存在を発掘することである。これには博物館側より会員へアンケートとして協力をしてもらうこととなる。協会としては是非とも協力を行いたいと考えているので、審議をお願いしたいと専務理事より説明した。

議長が本案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

議 題 3 平成 26 年度行事予定（案）について

専務理事より、別添資料 3 により「平成 26 年度行事予定（案）」について説明した。なお調整中の日程については、順次決定次第理事会等で案内して行く旨併せて説明があった。

議長より、本案を議場に諮った結果、原案どおり承認された。

次に平成 25 年秋の褒章において、受賞した会員を報告し会長より記念品を贈呈した。

○報告事項

大磯専務理事より、資料別紙「報告事項」に基づき説明を行った。

続いて、椿資格委員長より委員会事業の進捗状況の報告があった。

以上で議事の全てを終了し、15：00 閉会した。

以 上

上記理事会の議事を証するため、議長及び議事録署名人がここに押印する。

平成 25 年 12 月 5 日

議 長 竹 中 弘 忠



署 名 人 大 磯 義 和



署 名 人 後 関 満 之



署 名 人 田 中 良 典

